

グループ ブ名	単元名	学びの狙い	観点 ◎＝最重要、●＝重要										関連する教科	取組み方	想定時間数	
			知識・技能		思考・判断・表現			学びに向かう力・人間性								
			知識	技能	探究の意義や価値の理解	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめの表現	自己理解・他者理解	主体性・協働性	将来展望・社会参画				
ミニ探究 【導入レクリエーション】	1-1「自分の好きなモノ紹介」	1. 自分の好きなモノに関するエピソードを多く書き出す。 2. 自分の「好きなモノ」をエピソード入りの魅力的な発表にする。	●					◎		●	●			国語・情報	個人	2～3
	1-2「他者の好きなモノ紹介」	1. 友だちから「好き！」に関するエピソードを数多く聞き出す。そのために楽しいインタビューをする。 2. 友だちの「好き！」をエピソード入りの魅力的な発表にする。 3. 他者の好きなモノを紹介するためにまず他者をよく見て、理解することの必要性を体験する。			●		●	●	●	◎			国語・情報	個人、ペア	2～3	
	1-3「クラス(チーム)ルールをクリエイトしよう！」	1. クラス(チーム)の運営には一人ひとりが当事者として、互いの自由を尊重する努力を要することを理解できる。 2. 多量のデータを分析し、クラス(チーム)目標を導き出すことができる。 3. 個々人の価値観を尊重した上で、皆が合意できるクラス(チーム)のルールを決定できる。			●	●		●		●	◎		保健体育・特別活動	全体、グループ	2～3	
	1-4「学校の中の危険な場所を探す」	1. 個人の有する課題意識は、興味・関心に基づいて異なっていることが理解できる。 2. 自分を取り巻く課題と社会を取り巻く環境のつながりについてICT機器を効果的に用いて、情報を収集・整理することができる。 3. 探究を通して自己を見つめ、自分の個性や特徴に向き合おうとしている。			●	●	●			◎			保健体育・特別活動	全体、グループ	2～3	
	1-5「中学の総合的な学習で何を学んだか」	1. 各自の発表から幅広い事例に触れ、さらに高校の探究のポイントを知ることと高校の探究により関心を深める。 2. 各自の「総学まとめ」と「探究したいこと」を効果的に発表する。			●					◎			総合的な学習の時間(中学校)	グループ	1～2	
	1-6「修学旅行オリジナルガイドブックを作ろう」	1. 多様な情報を分析し、自分なりの視点でまとめて読者が体験したくなるレポートを作成する。								◎			国語・地歴公民・情報	個人	2～4	
	1-7「オープンキャンパスへ行こう！」	1. 大学を実際に訪れて、大学への関心や理解を深める。	※ワークシートのみ										—	個人	—	
	1-8「仕事を知ろう！～仕事インタビュー～」	1. 仕事に関するインタビューを行って、仕事や働くことへの関心・理解を深める。	※ワークシートのみ										—	個人	—	
	1-9「インターンシップに参加しよう！」	1. 職場で実際に働いて、仕事への関心や理解を深める。	※ワークシートのみ										—	個人	—	
	1-10「プレゼン型三者懇談」	1. 三者懇談に主体的に参加する。	※ワークシートのみ										—	個人	—	
	1-11「商店街の活性化問題(ケースメソッド)」	1. 持続可能な地域の実現には、多様な問題が存在していることや、問題解決に向けて取り組む人々や組織があることを理解する。 2. 自他の意見や考えの良さを生かしながら課題解決に向け、協働して学び合おうとする。	●									◎		地歴公民	個人、グループ	1
	1-12「基地問題から考える沖縄の平和学習」	1. 沖縄の基地問題を通して、平和は一国のみで成り立つものではなく、国際関係が重要であることを理解する。 2. 事前学習や現地フィールドワークで得られた情報を分析し、共生できる未来を実現するにはどうしたらよいか考える。	●						◎					地歴公民(中学社会科)	個人、全体、グループ	2
グループ ブ名	単元名	学びの狙い	観点 ◎＝最重要、●＝重要										関連する教科	取組み方	想定時間数	
	知識・技能		思考・判断・表現			学びに向かう力・人間性										
	知識	技能	探究の意義や価値の理解	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめの表現	自己理解・他者理解	主体性・協働性	将来展望・社会参画						
	2-1「名言、格言、キャッチコピーの違いとは」	1. 適切な情報をもとに、それに基づき「論証」を行い、仮説を書くポスターにまとめ、他者へ伝えるための発表ができる。 2. 必要であると考えられるデータを収集し、分類、特徴づけをすることができる。 3. 自ら主体的に課題に対して参画し、グループでの活動に貢献しようとする態度を持つ。		●		●	●	◎	●	●			国語	全体、グループ	2～3	
	2-2「AとBどちらが正しいか？」	1. 比較分析の方法を習得している。 2. 比較分析のための情報収集ができ、その成果を整理し提示することができる。 3. 比較分析を通して自分や他者の思考パターンに興味を持つ。		●		●		◎		●			国語・情報	全体、グループ	2～3	
	2-3「急な階段って！？」	1. 適切な情報をもとに課題を設定し、その情報をもとに「論証」を行い、仮説を書くポスターにまとめ、他者へ伝えるための発表ができる。 2. 必要であると考えられるデータを収集し、分類、特徴づけをすることができる。 3. 自ら主体的に課題に対して参画し、グループでの活動に貢献しようとする態度を持つ。			●	◎	●		●	●			数学・理科・情報	グループ	3	
	2-4「ざっくりと、でも緻密に」	1. 「観察」「推測」のために適切な情報を収集でき、それに基づき「論証」を行い、一貫した論理を持つポスターにまとめ、他者へ伝えるための発表ができる。 2. 具体的な数値や情報をもとによりよい結論を導いている。 3. 自ら主体的に課題に対して参画し、グループでの活動に貢献しようとする態度を持つ。			●		●	◎	●	●			数学・理科・情報	個人、グループ	3	
	2-5「Aを実証するためには何をすればいい？(研究計画作り)」	1. 仮説を検証するための研究計画を作ることができる。			◎									数学・理科	個人、全体、グループ	3
	2-6「SDGs入門」	1. SDGsを理解し、持続可能な社会の実現に向けた取組の大切さを理解する。				◎								SDGsに関連する各教科内容	個人、グループ	2～3
	2-7「インフォデミック(情報パンデミック)～その時あなたははどうしますか？～」	1. 災害時や疫病流行時の際には、歴史的にみても、デマが流れやすい。その時の対応を自らの問題として考えようすることができる。 2. 情報の受け手として、事実確認(ファクトチェック)を行う能力と責任感について意識することができる。 3. 非常時の課題に対して、他者の考えも取り入れながら、自らの考えを持つことができる。				●		●	●	●	◎			情報・公民	全体、グループ	2～3
	2-8「脱炭素社会構築のアイデア」	1. 脱炭素社会に関する担当の資料をグループで協力し読み解き、他のグループに報告する。 2. 報告をまとめる際に、資料に書かれていない欠点をグループで協力して科学的思考・合理的判断で見つけ出す。 3. 決まった答えのない課題解決に協力して取り組む。	●					●		◎			数学・理科・情報	グループ	3	
	2-9「CNN教材×SDGsワークシート」	1. 受信→思考→発信の流れで 4 技能を身につける。 2. 社会を構成する一員として、決して身近でない問題であっても関心を持つことができる。										◎	英語・地歴公民	個人、ペア、全体	2	
	2-10「吸水ショーツをきっかけに、ウェルビーイングな社会について考える」	1. 「ウェルビーイング(ウェルファーム)」といった用語を、適切に理解し用いることができる。 2. ウェルビーイングな社会に向けた具体的な課題解決策を考えることができる。 3. グループワークを通じて、他者の意見や視点を尊重し、協働して課題解決に取り組むことができる。			●				◎	●			家庭・保健体育・公民	グループ	2～3	
	2-11「フィボナッチ数列を調べよう」	1. 観察や実験の結果を踏まえ、既習知識を組み合わせて、自分の言葉で自然界の現象を他者へ説明することができる。 2. フィボナッチ数列の基本的な性質について理解し、観察や実験の結果をもとに、考察を適切にまとめることができる。 3. 自ら主体的に課題に取り組め、グループでの活動に貢献しようとする態度を持つ。		●			●	●	◎	●			数学・理科	グループ	2	
2-12「マラルディの角の秘密」	1. 観察や実験の結果について、既習知識を組み合わせて要因や根拠を考察し、自分の考えを他者へ説明することができる。 2. 具体的な数値や情報をもとに計算方法を考え、必要な値を求めることができる。 3. 自ら主体的に課題に取り組め、グループでの活動に貢献しようとする態度を持つ。		●			●	◎	●	●			数学A・数学Ⅱ・理科	個人、グループ	2		
2-13「セッケン水の構造を探る」	1. 観察や実験の結果を踏まえ、既習知識を組み合わせて、自分の言葉で事象や要因を他者へ説明することができる。 2. 表面張力の基本的な原理について理解し、観察や実験の結果をもとに、考察を適切にまとめることができる。 3. 自ら主体的に課題に取り組め、グループでの活動に貢献しようとする態度を持つ。		●			●	◎	●	●			数学・化学	個人、グループ	2		
★2-14「生成AI(とAI検索エージェント)を使ってみよう」	1. 生成AIの特性を理解し、生成AIから適切な回答を導き出す。 2. 生成AIの回答の妥当性を見極めた上で、自分たちの調査や意見も踏まえて発表資料を作成する。 3. 自他の意見や考えの良さを生かし、協働して活動に取り組む。		●						◎	●		情報・国語	グループ、全体	2		